Mascot Server version 2.8 Windows版 新規インストール・アップグレード手順 クラスター補足

この書類は、Mascot Server version 2.8(Windows 版) を新規にインストール、またはアップグレードする手順において、 クラスターシステムをご利用の場合、通常とは異なる設定箇所がありますのでその部分の補足説明が記された資料です。

準備 [新規インストール時コンピュータに対して事前に設定しておく内容]

[用語:コンピュータについて]

Master:以下の役割を担うコンピュータ

- Web server と Web アプリケーションとしての mascot のサービス提供
- mascot の計算要求を受け取る
- node へ計算を割り振る
- nodeの計算結果を受け取ってまとめ、ユーザーへ提供
- 検索結果を保存

計算 node: Master から受け取った命令に基づき計算を実行するコンピュータ

[ネットワーク設定]

設定に使用するため、Master 並びに計算 node に割り振った IP アドレスやコンピュータ名を把握してください。 Master と計算ノード間のデータのやり取りは社内/学内 ネットワークでなく、それらとは切り離され独自に構築した内部 ネットワークを使用するのが好ましいです。

設定例

種類	コンピュータ名	IP アドレス	サブネットマスク
Master	mascotmaster	192.168.101.1	255.255.255.0
計算 node	node01	192.168.101.101	255.255.255.0
計算 node	node02	192.168.101.102	255.255.255.0

* 上記に加え、Masterを社内/学内 ネットワークにも接続するようにする例も多く見受けられます。

Master から計算 node に対して IP アドレスやコンピュータ名を使って通信する事ができるか、あらかじめご確認ください。

[パスワード設定]

Master, 計算 node で共通する アカウント名とパスワード(管理者権限)で設定してください 例) mascot/mascot110

[インストールフォルダ]

各計算 node において、インストール作業前に、インストールフォルダをあらかじめ計算 node 側で作成しておいてください。そのフ ォルダについてさらに、共有設定を行い、アクセス許可でフルコントロールできるように設定をしてください。

例) C:¥mascotnode

[ファイアーウォール]

Master 並びに各計算 node において、「ファイルとプリンタの共有」設定をオンにしてください。また、受信並びに送信の設定 において、port 番号 5001 (mascot master⇔計算 node 通信に利用)の通過設定をしてください。



💣 新規の受信の規則ウィザード		×
プロトコルおよびポート		
この規則を適用するプロトコルとポ	ートを指定してください。	
ステップ:		
● 規則の種類	TOP と UDP のどちらにこの規則を適用しますか?	
プロトコルおよびボート	• TCP(I)	
● 操作	○ UDP(<u>U</u>)	
● プロファイル		
名前	すべてのローカル ボートと特定のローカル ボートのどちらを対象にこの規則を適用するかを選択し てくがさい。	
	○ すべてのローカル ボート(A)	
	 特定のローカル ボート(S): 5001 	
	傳修 80、443、5000-5010	
	〈 厚る(B) はへ(N) 〉 キャンセル	

[registry]

Master 並びに各計算 node において、レジストリエディタを起動し、以下の場所

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥Windows¥CurrentVersion¥Policies¥System

に、項目「LocalAccountTokenFilterPolicy」を作成し、DWORDとして値 | を設定してください。

ンピューター¥HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥Windows¥Curre	rentVersion¥Policies¥System
	名前
> Parental Controls	
	100 EnableCursorSuppress
PhotoPropertyHandler	题EnableFullTrustStartup
> PlayReady	認EnableInstallerDetecti
V Policies	LocalAccountTokenFilterPolicy
	EnableSecureUIAPaths
📜 Attachments	調EnableUIADesktopTog
> 📙 DataCollection	■ EnableOwpStartupTasi 1007-ダ(型): 衣記
- Explorer	题EnableVirtualization 16 進数(H)
> Ext	a) legalnoticecaption
NonEnum	a) legalnoticetext
Servicing	W PromptOnSecureDesk
	in scorceoption
	80 shutdownwithoutlogo
PowerEfficiencyDiagnostics	SupportFullTrustStartu OK キャンセル
> 📙 PrecisionTouchPad	80 SupportUwpStartupTa
PreviewHandlers	and a second sec
📙 Privacy	validateAdminCodeSignations
> 📙 PropertySystem	LocalAccountTokenFiterPolicy
> 📙 Proximity	

[Remote Registry]

計算 node において、サービス一覧から"Remote Registry"を探し、「スタートアップの種類」が「自動」と なるよう設定を変更してください。また変更後、該当項目を 右クリックし「開始」を選んでサービスを開始してください。

(ローカル コンピューター) Remote Registry のプロパティ					\times		
全般	ログオン	回復	依存関係				
サービス	ス名:	Rem	oteRegistry				
表示名	名:	Rem	iote Registry				
説明:		リモーるよ	ート ユーザーがこの うにします。このサ -のコ <i>ー</i> ザーのみナ)コンピュータ ナービスが停」 バレ・ジフ トリを	ーのレジストリ記 止している場合 恋 面できます	と定を変更でき ^ よは、このコンピュ このサービフォ ~	
実行フ	ファイルのパフ	ર :					
C:¥wir	ndows¥sys	stem32¥s	vchost.exe -k lo	ocalService	-р		
スタート	- アップの	自重	Ъ			~	
種類(<u>E)</u> :	白垂	(足て見た)				1
		自動	b h				1 1
サービス	スの状態:	無效 停止	b]
	開始(<u>S</u>)		停止①	一時	停止(P)	再開(R)	
ここでき	サービスを開	始するとき	に適用する開始	パラメーターを	を指定してくだ	さい。	
開始ハ	(゚ラメーター <u>(</u> ♪	<u>/)</u> :					
				OK	キャンセノ	レ 適用(<u>A</u>)

補足手順 | MASCOT インストール : node 設定

「Enable Mascot Cluster mode」にチェックを入れ、 「Configure」ボタンを押して node PC に関する設定を行います。

📌 Mascot Server	Setup				-		×
Cluster Config Choose wheth	guration er to use M	lascot cluster	mode.				
Please read the For a standard enabled. Othen below and then	cluster mo installation wise, if you click the C	de chapter of of Mascot on wish to enab configure butt	the installation r a single compute e cluster mode t on to specify the	manual b er, this fe hen plea nodes th	efore using thi lature should n se select the op lat will be in th	is featur iot be ption ne cluste	e. r.
Enable M	ascot cluste	er mode					
Con	figure 「Enc チェッ	At least or able Ma クを入れ	<u>scot clus</u> <mark>σ、ΓNext」</mark>	defined i ter r	node」เ⊂		
L			<u>B</u> ack	C	Next	Ca	ncel
er Setup							x
e Address	Port	#Processors	UNC Node Path		Node Director	ry	
Add Edit	Delete				ОК	Ca	ncel

計算nodePCの追加を行います。「Add」ボタンを押し、各 計算ノードの各項目を設定します。 設定ダイアログです。以下の項目を入力してください。

- ・計算node用フォルダのUNC パス
- ・ローカルコンピュータにおける計算node用フォルダのパス
- host名, IP, Port番号,各コンピュータで使用する
 CPUライセンス数

設定が終わりましたら、「OK」ボタンを押します。以降各計算nodeに対して同様の設定を行います。

Mascot Cluster Node	
Enter the UNC path to the location or Make sure that this directory path is i	n the node where Mascot will install its duster node files. unique to this node entry.
¥¥node1¥C\$¥mascotnode	Browse
Enter the equivalent of the above pa	th as seen locally on the node.
C:¥mascotnode	
Node Address	
The node name or IP address can However, you may override these	usually be determined from the UNC path above. values below if desired.
Use this specific host name:	node1
☑ Use this specific IP address:	10.0.1.11
Port number: 5001	
Number of processors to use on this	node: 2
	OK Cancel

補足手順 2 MASCOT Service 開始設定

MASCOT Server をClusterシステムでご利用の場合、インストール後MASCOT Server の サービスは自動的に開始 されません。MASCOTのサービスを各コンピュータで共通するユーザー・パスワードで開始するよう設定を変更した後、改めて MASCOTサービスを開始する必要があります。

以降、その設定と開始方法についてご案内します。

まず、コントロールパネルを起動します。

(操作例: windows マーク右側の検索欄で「control」と 入力すると候補に「コントロールパネル」が挙がってくるので 選択する、など。 右図)



コントロールパネルの、「システムとセキュリティ」→「管理ツール」→「サービス」を選びます。



サービス一覧の中で「Matrix Science Mascot Service」という項目を探し、ダブルクリックします(下図)。

🔍 サービス	299250-29939-29926000000919920000000000-29				- 0	×
ファイル(F) 操作(A) 表	示(V) ヘルプ(H)					
(+ +) 📰 🖬 🖬	🗟 🚺 🕨 🖬 🕪					
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	○ サービス (ローカル)					
	Matrix Science Mascot Service	名前	説明	状態	スタートアップの種類	۲ م
		🖏 Lenovo PM Service		実行中	自動	L
	サービスの停止	Link-Layer Topology Discovery Mapper	PC L.		手動	L
	リーヒスの再進動	Q Local Service Manager	2 1	中行山	自動	L
		Matrix Science Mascot Service	Man	実行中	自動	Ĺ
	説明:	Messaging Section 1071	-+7		手動 (トリガー開始)	L
	Manages local Mascot databases and	🤹 Microsoft (R) 診断ハブ標準コレクター サーピス	診断		手動	L
			C 14 C			L
		Q Microsoft Office クイック実行サービス	Micr	実行中	自動	L
		Microsoft Passport	ユーザ	実行中	手動 (トリガー開始)	L
		Microsoft Passport Container	IDプ	実行中	手動 (トリガー開始)	L
		Microsoft Software Shadow Copy Provider	ボリュ		手動	L
		Microsoft Storage Spaces SMP	Micr		手動	٢
		Wicrosoft Store インストール サービス	Micr	実行中	手動	L
		Wicrosoft Windows SMS ルーター サービス。	規則		手動(トリカー開始)	L
		Mozilla Maintenance Service	Mozil		手動	L
		Net.Tcp Port Sharing Service	net.tc		無効	Lv
		<				>
	∖拡張 ⟨標準/					

	(ローカル コンピューター) Matr	rix Science Mascot Service のプロパティ	×
「ログオン」タブ内の「 <mark>アカウント</mark> 」にて、	全般 ログオン に復	依存関係	
以下の設定を入力します。	ログオン:		
	○ ローカル システム アカウ □ デスクトップとの対	ント(L) 話をサービスに許可(W)	
・アカウント	アカウント(T):	mascot	参照(B)
→ ログインユーザー(mascotなど)	パスワード(P):	•••••	
・パスワード	パスワードの 確認入力(C):	••••••	
→ mascotユーザーログイン時のパスワード			-
入力後、「 <mark>OK</mark> 」ボタンを押します。	「ログオン」ろ	7ブでユーザー名とパスワー	べんカレ、
	「OK」ボタン	を押します	
例ではアカウント mascotで、パスワードにはmascotのログイン時			
のパスワードを入力しています。			
		OK キャンセル	適用(A)

Matrix Science Mascot Service を選んだ状態で右クリック→「開始」を選ぶとMASCOT Serviceが開始されます。 開始時にエラーが出た場合はお手数ですが弊社までご連絡ください。

🔍 サービス					- 0	\times
ファイル(F) 操作(A) 弱	表示(V) ヘルプ(H)					
🗢 🔶 📅 🖾 Q	🗟 🚺 🕨 🗉 🖬 🕨					
🥥 サービス (ローカル)	 サービス (ローカル) 					
	Matrix Science Mascot Service	名前	説明	状態	スタートアップの種類	۲ م
		Lenovo PM Service		実行中	自動	L
	サービスの停止	Link-Layer Topology Discovery Mapper	PC 2_		手動	L
	リーヒスの再起動	10 Local Service Manager	n_h	生活中	白動	
		Matrix Science Mascot Service	Man	実行中	自動	1
	説明:	wessagingservice_dorbc	11/1-		子(1771 円月)	
	monitors cluster nodes.	🥋 Microsoft (R) 診断ハブ標準コレクター サービス	診断_		手動	L
	nontors cluster nodes.	🏟 Microsoft Account Sign-in Assistant	ユーザ		手動 (トリガー開始)	L
		🏟 Microsoft App-V Client	Man_		無効	L
		Microsoft iSCSI Initiator Service	このコ		手動	L
		🥋 Microsoft Office クイック実行サービス	Micr	実行中	自動	L
		🖏 Microsoft Passport	ユーザ	実行中	手動 (トリガー開始)	L
		Alter Microsoft Passport Container	ID ブ_	実行中	手動 (トリガー開始)	L
		Alter State State State Shadow Copy Provider	ボリュ		手動	L
		Alternation Storage Spaces SMP	Micr_		手動	4
		🥋 Microsoft Store インストール サービス	Micr_	実行中	手動	L
		🎑 Microsoft Windows SMS ルーター サービス。	規則。		手動 (トリガー開始)	L
		Availla Maintenance Service	Mozil		手動	L
		Net.Tcp Port Sharing Service	net.tc		無効	Lv
		<				>

▶ 技術サポート

インストールに関してご質問等ありましたら弊社技術サポートにご連絡ください。

電子メール :support-jp@matrixscience.com

電話:03-5807-7897

